

令和7年度 行政評価

上三川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略
施策評価結果等について

令和7年7月

上三川町

令和7年度行政評価について

1 はじめに

「上三川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）に掲げる施策項目について評価することで、現状と課題を把握し、次期の総合戦略策定に向けて見直しや改善を図ることで、人口減少克服や地方創生のさらなる推進を図ることを目的としております。

2 評価方法について

総合戦略に掲げる17の施策について、成果指標の達成度を客観的に検証し、次期総合戦略において人口減少の克服や地方創生の推進に向け、どのような施策を位置づけるべきか、総合計画等評価委員会において評価を行いました。各施策のこれまでの取り組み内容や、成果指標の達成度を評価の指標とし、総合戦略の施策としての有効性の高さを5段階で評価しました。

評価		参考基準
5	有効性が極めて高い	・人口減少克服等のために必須 ・かなりの効果が期待できる(見込まれる)
4	有効性が高い	・効果が期待できる(見込まれる) ・推進した方が良い
3	どちらともいえない	・改善や工夫により有効性が高まる可能性がある
2	有効性が低い	・相当な改善や工夫をしなければ有効性は高まらない
1	有効性が極めて低い	・効果は期待できない ・別な視点に切り替えるべき

3 評価結果について

17の施策項目全てが3.0以上となりました。4.0以上の施策については、人口減少克服や地方創生の推進に向けて有効性が高いという評価となったため、今後も継続、深化させ取り組みを進めてまいります。また、3.0に近い評価となった施策については、改善、工夫を加え有効性の高い施策となるよう見直しを図ってまいります。

評価点	施策数
3.0～3.4	4
3.5～3.9	5
4.0～4.4	7
4.5～5.0	1
合計	17

上三川町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 (令和2(2020)年度～令和7(2025)年度)

基本目標1 安心して働き、稼げる“かみのかわ”の実現		
基本的方向(1) 農・商・工業の活性化の推進		
【作戦①】地元農業活性化プロジェクト		3.3
【作戦②】地元産業活性化プロジェクト		3.9
基本的方向(2) 雇用機会創出の推進		
【作戦③】就業・起業化等の支援		4.0
【作戦④】多様な人材が活躍できる環境づくり		3.7
基本目標2 魅力ある“かみのかわ”への新しい流れの創出		
基本的方向(1) 移住・定住支援の充実		
【作戦⑤】移住・定住支援事業		4.6
【作戦⑥】住みやすい環境や支援の充実		3.7
基本的方向(2) 町の魅力アップの推進		
【作戦⑦】上三川町住んでよいところPR		4.0
【作戦⑧】上三川町来て・知ってよいところPR		4.1
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び教育環境の充実		
基本的方向(1) 出会いから結婚・出産・子育て支援の推進		
【作戦⑨】結婚応援プログラム		3.4
【作戦⑩】妊娠・出産応援プログラム		3.7
【作戦⑪】子育て支援の充実		4.3
基本的方向(2) 人間力を豊かにする教育の推進		
【作戦⑫】特色ある教育活動の推進		4.1
【作戦⑬】学校を核とした地域づくりの推進		3.4
基本目標4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり		
基本的方向(1) 安心安全を地域で守る体制の充実		
【作戦⑭】地域で守る防災対策事業		3.9
【作戦⑮】安心・安全推進プロジェクト		3.4
基本的方向(2) 誰もがいきいき生活できる支援の充実		
【作戦⑯】いきいき生活推進事業		4.0
【作戦⑰】運動・健康づくり支援事業		4.1

【基本目標 1】安心して働き、稼げる“かみのかわ”の実現

成果目標	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値
1人当たり町民所得 (県市町村民経済計算)	3,811 千円 (H28)	4,000 千円 (R5)	3,379 千円 (R3)
事業所従業者数 (経済センサス)	17,057 人 (H28)	17,500 人 (R6)	17,817 千円 (R3)

基本的方向（1） 農・商・工業の活性化の推進

【作戦①】地元農業活性化プロジェクト

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
町内農産物直売所の年間販売額(3箇所)	33,700 千円	50,000 千円	34,233 千円
担い手への農地集積率	50%	60%	66.2%

【作戦②】地元産業活性化プロジェクト

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
企業間交流会の実施	1 回	延 6 回	—
制度融資利用件数 (※)	14 件	20 件	16 件

※中小企業向け融資制度の 1. 設備近代化資金、2. 経営改善資金、3. 創業支援資金の利用件数。

基本的方向（2） 雇用機会創出の推進

【作戦③】就業・起業化等の支援

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
創業支援等事業参加者数	20 人	延 100 人	55 人
インター南産業団地企業立地面積	—	6.2ha (R5)	R3 年度 整備完了

【作戦④】多様な人材が活躍できる環境づくり

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
障がい者の工賃（時給換算）	273 円	301 円	90 円
企業への意識啓発件数 (健全な職場環境実現 等)	—	延 12 件	3 件

【基本目標２】魅力ある“かみのかわ”への新しい流れの創出

成果目標	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
社会増減数 （県毎月人口調査（年度））	－5 人	0 人（維持）	－160 人
東京圏からの転入者数 （住民基本台帳（年度））	190 人	230 人	264 人

基本的方向（１） 移住・定住支援の充実

【作戦⑤】移住・定住支援事業

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
空き家バンクへの登録件数	0 件	10 件	8 件
定住促進住宅取得支援金申請件数	14 件	累計 100 件	110 件

【作戦⑥】住みやすい環境や支援の充実

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
デマンド交通乗車人数	14,956 人	18,000 人	16,152 人
20～30 歳代社会増減数	71 人	70 人（維持）	－95 人

基本的方向（２）町の魅力アップの推進

【作戦⑦】上三川町住んでよいところPR

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
東京圏における上三川町の認知度	17.3%	20.0%	19.9%
移住・定住ページのアクセス数	－	2,500 件	8,567 件

【作戦⑧】上三川町来て・知ってよいところPR

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
観光客入込数	85,280 人	105,000 人	243,964 人
ふるさと納税寄附件数	596 件	710 件	1,817 件

【基本目標３】若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び教育環境の充実

成果目標	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R5）
婚姻届出数 （県人口動態統計）	130 件	130 件（維持）	98 件
合計特殊出生率 （県保健統計年報）	1.45 (H29)	1.51	1.26

基本的方向（１） 出会いから結婚・出産・子育て支援の推進

【作戦⑨】結婚応援プログラム

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
出張登録会参加人数	—	10 人	4

【作戦⑩】妊娠・出産応援プログラム

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
出生児数	229 人	240 人	163 人

【作戦⑪】子育て支援の充実

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
保育所等待機児童数	14 人（R1.10.1 現在）	0 人	0 人
子育て支援センター利用者数	12,196 人	12,500 人	62,884 人

基本的方向（２） 人間力を豊かにする教育の推進

【作戦⑫】特色ある教育活動の推進

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
読書に親しむ児童生徒の割合 （全国学力・学習状況調査）	75%（R1）	80%	79.8%
中学校卒業までに英検３級程度以上を取得した生徒の割合（国の英語教育実施状況調査）	32%	40%	45.0%

【作戦⑬】学校を核とした地域づくりの推進

K P I	基準値（H30）	目標値（R7）	実績値（R6）
地域の行事に進んで参加する子どもの割合（全国学力・学習状況調査）	81%（R1）	85%	68.1%

【基本目標 4】誰もが健康で暮らしやすい環境づくり

成果目標	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R5)
まちの安心・安全に関する満足度※1	0.79 (R1)	1.00 以上	2.06
障がい者福祉に対する町民満足度※2	0.88 (R1)	1.00 以上	0.69

※1 まちづくりアンケートにおける「消防・防災体制」、「治水対策」、「交通安全対策」、「防犯体制」の各満足度の加重平均値

※2 まちづくりアンケートにおける加重平均値

基本的方向（１）安心安全を地域で守る体制の充実

【作戦⑭】地域で守る防災対策事業

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
消防団員数	250 人	250 人 (定数確保)	240 人
自主防災組織数	23 箇所	40 箇所	33 箇所

【作戦⑮】安心・安全推進プロジェクト

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
交通安全対策の状況に関する町民の満足度（「満足」「どちらかといえば満足」の割合）	22.2% (R1)	40.0%	22.2%

基本的方向（２）誰もがいきいき生活できる支援の充実

【作戦⑯】いきいき生活推進事業

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
地域の居場所への参加延べ人数 (いきいきサロンなど)	10,014 人	11,000 人	6,563 人
学習支援ボランティア人数	19 人	25 人	22 人

【作戦⑰】運動・健康づくり支援事業

K P I	基準値 (H30)	目標値 (R7)	実績値 (R6)
健康マイレージ参加者数	560 人	590 人	616 人
週 1 回以上の運動をしている町民の割合	25.7% (R1)	35.0%	26.8%

【基本目標 1】安心して働き、稼げる“かみのかわ”の実現

基本的方向（1） 農・商・工業の活性化の推進

本町の活力維持や魅力向上を図るため、町の有する既存資源や地域特性を活かしながら、Society5.0の社会を見据え、未来技術の活用やデジタル人材の育成・確保を促進するとともに、J A等と連携した農業生産基盤の充実や、地元商店街の振興、地元各企業との連携を強化する取組みを進めます。また、安定した農・商・工業を継続していくため、事業承継の推進を図ります。

【作戦①】地元農業活性化プロジェクト・・・評価 **3. 3**

地元農業の活性化に向け、高収益作物の生産振興・農産物ブランド化や、A I・I o T活用等による生産性向上や収益力向上の取組みを支援します。農業生産基盤を維持する集落営農の組織化や法人化、農地の集積・耕作放棄地の再生、新規就農を支援する助成金の支給や農業体験・週末農業等のイベント開催などの上三川町の農業を活気づける安定した支援を推進します。また都市部への販売ルートの拡大や、6次産業化の取組みを推進します。

○主な事業や取組

- ・担い手の確保及び育成に関する支援事業 ・農業人材力強化総合支援事業
- ・就農相談 ・農地集積推進事業 ・園芸産地振興対策事業 ・特産物販路拡大事業
- ・グリーンツーリズム推進事業 ・かみのかわブランド認定事業
- ・スマート農業技術導入支援事業 等

○今後の取組の方向性

- ・農産物直売所については、店舗での販売だけでなく、イベントなど店舗外での販売の機会をうまく活用し売り上げ向上を目指す。
- ・担い手への農地集積率を上げるためには、地域での話合いが必要不可欠であり、（地域計画に基づく）地元主体での話合いの場の創設に向け、地元の意識の醸成を図っていく。

【作戦②】地元産業活性化プロジェクト・・・評価 **3. 9**

地元各企業が持つ潜在能力を広く周知することで、町に対する魅力を喚起し、将来的な就業や定住につながるよう、町内大手企業をはじめとする地元各企業と連携した事業を推進します。また、人々が集いにぎわう街の創造を目指し、町民及び事業者との連携のもと、魅力ある商店街づくりを推進します。

商工会や地元金融機関等との連携により、経営改善のための各種制度資金の有効活用や、地元企業と就業希望者への支援、事業承継に対する支援の充実・強化を図ります。

○主な事業や取組

- ・企業間交流会の実施 ・町内金融機関と連携した制度融資
- ・プレミアム付き商品券の発行
- ・わくわく地方生活実現パッケージ事業（移住支援金事業：就業） 等

※企業間交流会は、令和5年度で廃止。代わって中小企業販路開拓支援補助事業を開始。

○今後の取組の方向性

- ・制度融資の利用を促進するため、金融機関や商工会会員への定期的な周知を継続する。

基本的方向（２） 雇用機会創出の推進

若者世代や子育て世代を始め、女性や高齢者等の誰もが安心して働くことができるよう、雇用の場を確保する企業の誘致や、就業・起業のしやすい環境づくりを進めます。

【作戦③】 就業・起業化等の支援 ・・・ 評価 4. 0

町内で新たに起業したい人に対し、起業の場の提供や地元金融機関との連携等によるサポートの充実を図ります。

北関東自動車道や新4号国道が走る立地優位性を活かしながら、就業の場としての安定した雇用創出につながる新たな産業基盤整備を進めます。

○主な事業や取組

- ・創業支援等事業 ・創業資金融資制度の利用
- ・わくわく地方生活実現パッケージ事業（起業支援金事業） 等

○今後の取組の方向性

- ・創業支援等事業について引き続き事業の周知を図ると共に、今後の取組について検討を行う。

【作戦④】 多様な人材が活躍できる環境づくり ・・・ 評価 3. 7

町内で就労を希望する女性・高齢者・障がい者・外国人等と、町内企業における人材確保の希望をマッチングする就業支援などを行うことにより、多様な人材が活躍できる場の創出を進めます。

また、障がい者支援施設で製造する製品の販路拡大等の支援により、安定した流通経路を確保し、売り上げ増・就労者の工賃増を図ります。さらに、関係機関と連携して農福連携を推進し、安定した就労の場を確保することにより、障がい者の社会参加を促します。

○主な事業や取組

- ・障がい者雇用支援事業
- ・障がい者の工賃向上事業
- ・就業支援事業
- ・企業への意識啓発
- ・わくわく地方生活実現パッケージ事業（移住支援金事業：就業）等

○今後の取組の方向性

- ・障がい者支援施設で製造するパン売上を伸ばすため、令和6年度に敬老会スポーツ大会への出店などを実施したが、今後も今まで以上に町のイベントに参加する等の対応を検討する。
- ・引き続き継続的なセミナー等の実施により企業への意識啓発を図る。

【基本目標2】魅力ある“かみのかわ”への新しい流れの創出

基本的方向（1） 移住・定住支援の充実

町民の高い定住意向や町外からの新たな移住を見据え、その受け皿となる利便性の高い居住環境の整備や、地域交通の環境整備など定住を後押しするサービス・支援の充実を図ります。

【作戦⑤】移住・定住支援事業 . . . 評価

4. 6

地方移住希望者の定住を促すため、空き家等のデータ整理、空き家バンク等による情報の提供を強化し、移住希望者とのマッチング支援などを推進します。

また、親元近くでの居住を希望する声に応じるとともに、若者の定住や町外からの移住者への定住促進を図るために住宅取得支援を推進します。

○主な事業や取組

- ・空き家対策事業
- ・上三川町定住促進住宅取得支援金 等

○今後の取組の方向性

- ・空き家所有者からの相談件数は増加しているが、解体や民間事業者への売却などにより、バンク登録につながらないものもある。しかし、空き家バンク制度を周知することで、空き家について家族で考える機会となるため、今後も事業を継続していく。
- ・定住促進住宅取得支援金について、今後も継続して事業を行うとともに、特に中古物件は、空き家対策の観点からも支援金支給により住宅取得を促進する。

【作戦⑥】住みやすい環境や支援の充実 . . . 評価 3. 7

上三川町への移住や定住を促すため、「居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり」や、持続可能な地域公共交通環境の維持・活性化を図り、広域的な移動手段の確保に関する取組みを推進します。また、高校や大学への進学や就職を期に、上三川町を離れてしまうことが多い若者世代に向けた定住支援策、Uターン支援策の取組みを推進します。

○主な事業や取組

- ・デマンド交通運行事業 ・高齢者運転免許証自主返納奨励事業
- ・わくわく地方生活実現パッケージ事業（移住支援金事業：就業）
- ・東京圏での移住定住セミナーの開催 ・ウォークブル推進事業 等

○今後の取組の方向性

- ・引き続きかみたん号の PR を行うとともに、効率的な乗合いにより利用者を増やしなが
ら、持続可能な運行をしていく。
- ・若者や女性に選ばれる地域となるよう、雇用の場の創出や魅力あるまちづくりを推進す
る。

基本的方向（２）町の魅力アップの推進

多くの人に上三川町を定住の場として選んでもらえるよう、ブランド力を高める取組みや、魅力を広く行き渡らせるPR事業を進め、将来的な移住につながる「関係人口」の創出・拡大に取り組みます。

【作戦⑦】上三川町住んでよいところPR . . . 評価 4. 0

東京圏をはじめとする町外者に新たな定住の場として上三川町を選んでもらえるよう、東京圏での移住・定住セミナーやインターネット・SNS・シティプロモーション冊子などによるPRを実施します。また、近隣市町の工業団地等への「交通アクセスの良さ」と「良質な自然環境」を併せ持ち、「強くて住みやすい町」としての情報を町外へ広く伝えます。

○主な事業や取組

- ・国土強靱化計画事業 ・広域的な連携による公共施設の相互利用
- ・かみのかわPR事業（移住促進事業） ・地域おこし協力隊の活用
- ・水環境PR事業（下水道のPR・上水道のPR）
- ・オールとちぎ移住&しごとフェア（都内開催）出展 等

○今後の取組の方向性

- ・東京圏から本町への移住を誘導するため、都内を会場とした移住イベントにおいて町の魅力のPRと相談対応を継続して行う。
- ・移住・定住ページについて、移住、結婚、出産、子育て、教育等の町の施策や支援事業等の情報を随時更新し町の立地優位性などの魅力と共に発信していく。

【作戦⑧】上三川町来て・知ってよいとこPR . . . 評価 **4. 1**

上三川町の観光資源や歴史的文化財、町のキャラクターを町内外に発信し、知名度向上につなげることで、サンフラワー祭りや夕顔サマーフェスティバルなどのイベント時の来場者や参加団体の増加を図ります。また、上三川町に繰り返し訪れるなど、地域と継続的な関わりがあり、将来的な移住につながる「関係人口」の創出・拡大に取り組みます。

さらに、日本の伝統文化である折り紙を用いてあらゆる年齢・性別・国籍の人々と未来技術を用いて交流し、「関係人口」を増加させる拠点として、生涯学習センター・子育て支援センター等の機能を有する複合施設を整備します。当該施設において本町出身の世界的ORIGAMI作家である吉澤章氏の作品の常設展示を行います。施設周辺には中心市街地があり、歴史的建造物も徒歩圏内に点在していることから、観光客の誘致などによる地域経済の発展を図ります。

○主な事業や取組

- ・ふるさと納税の推進（返礼品の充実等） ・企業版ふるさと納税の活用
- ・町内文化財・歴史PR事業 ・しらさぎマラソン大会事業（町外参加者増加策の推進等）
- ・サンフラワー祭り ・夕顔サマーフェスティバル（現フェスタ in かみのかわ）
- ・町内各種イベント周知の強化 ・ORIGAMIのまちかみのかわの推進 等

○今後の取組の方向性

- ・引き続き観光情報を発信し周知を図る。
- ・引き続き町のPRに資する、魅力あるふるさと納税返礼品の充実に取り組む。

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び教育環境の充実

基本的方向（１） 出会いから結婚・出産・子育て支援の推進

若者の結婚に対する希望がかない、安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のない支援が受けられる環境づくりに向け、町独自の視点による経済的不安解消の取組みや、母親の負担を軽減するサービス・支援の充実を図ります。

【作戦⑨】結婚応援プログラム・・・評価 **3. 4**

結婚を前向きにとらえる機運を醸成するため、関係機関や各種団体と協力しホームページやSNS等を活用した情報発信を行うとともに、県と連携しマッチング機能を充実させるなど結婚支援の取組みを強化します。また、各種団体や近隣市町と連携し、出会いの場の創出を支援するなどの工夫を図ります。

○主な事業や取組

- ・とちぎ結婚支援センター『出張相談会』事業
- ・結婚新生活支援事業 等

○今後の取組の方向性

- ・引き続き、結婚支援センターへの来所が難しい方への支援として、出張相談会を開催する。

【作戦⑩】妊娠・出産応援プログラム・・・評価 **3. 7**

不妊治療に対する正しい知識のPRや、不妊治療にかかる費用の一部助成などにより、妊娠・出産を希望する夫婦の精神的・経済的負担を軽減させ、誰もが安心して子どもを持つことができるよう支援を行います。また、妊産婦の歯科健康診査を推進し、歯周病による早産や低体重児出産のリスクを軽減させるため健康診査費用の助成を行います。さらに、出産・育児の経済的不安を軽減するため、新生児聴覚検査費用の助成やベビーギフトの配布、第3子以降への経済的支援に取り組みます。

○主な事業や取組

- ・不妊治療費助成事業
- ・妊産婦歯科健康診査
- ・新生児聴覚検査費用助成
- ・ベビーギフト事業
- ・第3子以降出産祝金事業
- ・子ども医療費助成事業 等

○今後の取組の方向性

- ・安心して妊娠・出産ができるよう、引き続き、経済的・精神的支援を行っていく。

【作戦⑪】子育て支援の充実・・・評価 4. 3

仕事と子育てが両立できるよう多様化する保育のニーズに応じたサービスを提供するため、支援内容や施設など保育環境の整備に取り組みます。

また、出産・育児の精神的負担を軽減するため母親同士の交流や情報交換の場となる子育て支援センターの利活用を促進し、子育て相談や居場所の提供等、子育て支援の充実を図ります。

出産後の母親がリフレッシュして育児にのぞむことができるよう、母親自身の健康管理や生活習慣予防の気づきとなる産後ダイエットを支援するなど、子育て中の家庭を応援します。

関係機関との連携を強化し、障がいの早期発見・早期療育体制を確立するとともに、障がい児通所支援事業を充実することにより、障がい児の子育てしやすい環境づくりを推進します。

○主な事業や取組

- ・産後ママ応援教室　・産後ケア事業　・子育てワンポイント講話　・待機児童対策
- ・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）　・こども発達支援センター事業　等

○今後の取組の方向性

- ・保育所等の入所に関するニーズを注視し、引き続き待機児童対策に努める。
- ・保護者・子どもに交流の場を提供し、気軽に相談できるような体制を整える。

基本的方向（２）　人間力を豊かにする教育の推進

これからの上三川町や社会の担い手となる人材を育てられるよう、求められる資質・能力などを身につけられる教育を推進します。

【作戦⑫】特色ある教育活動の推進・・・評価 4. 1

学校教育の質の向上のため、各学校の特色ある教育活動実践に向けたマネジメント体制を強化し、確かな学力の育成や豊かな心・健やかな体の育成に努めます。また、学習効果の高い ICT 機器を活用した教材の導入を進めるなど、快適な教育環境の充実を図ります。

○主な事業や取組

- ・マネジメント力向上事業　・学校図書館利活用事業　・外国語教育推進事業
- ・タブレット型端末整備事業　等

○今後の取組の方向性

- ・児童生徒が本に親しむ機会が増えるよう、学校図書館司書と連携し、引き続き読書活動の充実を図っていく。
- ・各校の外国語教育担当者や ALT と連携し、英語を楽しく体験的に学ぶ機会の充実化を図る。

【作戦⑬】学校を核とした地域づくりの推進 . . . 評価 3. 4

地域とともにある学校づくりの一層の推進を図るため、学校を核とした協働の取組みを通じて、地域コミュニティの活性化を図ります。また、上三川町に対する愛情や誇りを育み、将来の定住や U ターンに繋がるひとつの取組みとして、関係団体等と連携し、郷土学習の充実を図ります。

○主な事業や取組

- ・コミュニティスクール推進事業
- ・ふるさと教育推進事業
- ・キャリア教育推進事業 等

○今後の取組の方向性

- ・学校運営協議会との連携を促し、保護者や児童生徒に地域とのつながりの大切さを実感できるように地域行事等の情報提供を行う。

【基本目標 4】誰もが健康で暮らしやすい環境づくり

基本的方向（１）安心安全を地域で守る体制の充実

上三川町の活性化のためには、町民が安心して住み続けられるまちづくりが重要なことから、災害の少ない本町の長所をさらに伸ばす取組みを推進します。

そのため、国土強靱化の視点からより安心・安全に関する取組みの連携を強化し、安心して住み続けられる環境づくりに向け、防災体制の強化を図ります。

【作戦⑭】地域で守る防災対策事業 . . . 評価 3. 9

災害等に「強くて住みやすい町」の実現のために、国土強靱化に関係する取組みの連携の強化を促進します。

災害時に対応できる資機材を整備すると共に、町民の防災意識や地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進します。

地域防災の核として重要な役割を担う消防団員の確保に向け、消防団活動のPRや事業協賛店における特典サービス等の支援をします。

また、道路や橋梁、河川及び上下水道施設などの管理・修繕・改良や耐震化を適切に行い、災害に対応できる強いまちづくりを推進します。

○主な事業や取組

- ・がんばれ消防団事業　・自主防災組織の推進　・国土強靱化計画策定事業
- ・橋梁長寿命化修繕・耐震化事業　・河川整備事業　・道路整備事業
- ・上下水道施設耐震化事業　・田んぼダム整備事業　・ハザードマップ作成事業
- ・農村地域防災減災事業　・防災DX推進事業　等

○今後の取組の方向性

- ・引き続き消防団行事の見直しを進め、参加しやすい体制を整備する。また、被雇用者の増加を踏まえ、消防団の組織体制見直しの検討を進め、加入しやすい環境整備に向けて取り組む。
- ・自主防災組織設立の推進に向けて、引き続き自治会総会等での周知や、自治会への説明を実施する。町内の防災士と連携し、設立を進める。

【作戦⑮】安心・安全推進プロジェクト　・・・　評価 **3. 4**

子ども達の通学時や日常生活の安全を確保するため、地域で守る活動のPRや意識啓発に取り組みます。また、関係機関と協力して、小中学校の通学路を点検し、危険箇所の把握と対策を講じることで、より安心・安全な通学路の確保を図ります。

各家庭の自動車の保有率が高く、主な移動手段を自動車に依存している上三川町において、誰もが安心・安全に移動が出来るように、運転しやすい環境づくりを推進するとともに、高齢化の進行を視野に入れ、自動車に依存せずに移動できる環境づくりに努めます。

○主な事業や取組

- ・交通安全施設整備事業　・交通安全運動実施　・交通安全教室等の開催
- ・放課後子ども教室事業　・公共交通の維持　・デマンド交通運行事業
- ・高齢者運転免許証自主返納奨励事業（再掲）　・LED防犯灯整備事業　等

○今後の取組の方向性

- ・引き続き交通安全施設の設置及び管理を行い、町民の交通安全に対する意識向上のための交通安全教室等を実施していく。

基本的方向（２）誰もがいきいき生活できる支援の充実

高齢者・障がい者・今後増加することが予想される外国人材など、多様な人材が活躍でき、健康でいきいき生活できる環境づくりとして、地域での交流やサービスを充実させることで、安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

高齢社会の進行を見据え、お年寄りが様々な交流のなかで、生きがいを持ちながら元気に暮らし続けることのできるサービス・支援の充実を図ります。

【作戦⑯】いきいき生活推進事業・・・評価 4. 0

高齢者の生きがいにつながる活動の場として、生きがいサロンを継続実施するとともに、文化・スポーツなど多様な学習機会の提供を図ります。また、障がい者やその家族に対するサービスを充実させることで、安心して生活できる環境の推進を図ります。

町社会福祉協議会や在宅介護支援センター、地域包括支援センター等の関係機関や地域コミュニティと協力し、定期訪問等の実施により、地域で見守る体制づくりを推進します。また、高齢者や障がい者、外国人などの多様な人材が地域社会の構成員として活躍するため、放課後子ども教室など地域で交流できる機会を確保することにより、誰もが活躍できる地域づくりを推進します。

○主な事業や取組

- ・安否確認・緊急通報システム事業　・地域の居場所推進（いきいきサロン等）
- ・グループホームの整備助成事業　・放課後子ども教室事業（参加ボランティア）
- ・介護予防事業　・学習サポート事業（学習支援ボランティア講師）　等

○今後の取組の方向性

- ・居場所の周知やミニサロンの設立について、引き続き働きかける。
- ・学習支援ボランティアの就職や高齢化により人数が減少した。引き続き広報誌やホームページ等で周知するとともに、大学生や会計年度任用職員等が参加できるように働きかける。

【作戦⑰】運動・健康づくり支援事業・・・評価 4. 1

上三川町に住む町民すべてが健康でいきいき生活できるよう、健康マイレージ事業などの健康づくり事業の推進や、健診受診率を向上させることを通じて住民が主体的に健康づくりに取り組む意識付けを支援します。

また、いきいきプラザを拠点とした運動・健康づくりの活動をさらに推進するため、いきいきプラザの敷地内および周辺地域を活用し、ウォーキング等の気軽に取り組める運動ができる環境の整備を推進します。

○主な事業や取組

- ・健康マイレージ事業
- ・町民スポーツレクリエーション祭事業
- ・フェンシング普及事業 等

○今後の取組の方向性

- ・健康マイレージ事業について、より効果的な事業実施を目指し引き続き取り組んでいく。
- ・関係団体との連携により、ニュースポーツの普及等、老若男女が気軽に運動できる機会を増やすことで、町民一人1スポーツの推進を図る。